

第70期

報 告 書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

名糖産業株式会社

目 次

株主の皆様へ	1
連結業績の推移	5
連結財務諸表	
連結貸借対照表	6
連結損益計算書	7
連結株主資本等変動計算書	8
連結キャッシュ・フロー計算書	8
個別業績の推移	9
個別財務諸表	
個別財務諸表（要約）	10
個別株主資本等変動計算書	11
会社の概要、株式の状況、役員	12

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申しあげます。

さて、当社第70期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の営業の概況につきましてご報告申しあげます。

<企業集団の事業の経過およびその成果>

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災やタイの洪水被害の影響により、経済活動が急速に落ち込みましたが、震災からの復興事業が内需を支え、さらに米国景気の復調や円高の一服により輸出が好転して、緩やかな回復を始めました。しかし、一方では、長期化するデフレ経済に加え、原油高や電力不足懸念、さらに新興国景気の減速や欧州債務危機への不安など、景気の先行きへの懸念材料も依然として残りました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、安全・安心で高品質な商品の提供への取り組みが強く求められる一方で、原材料・エネルギーコストが上昇するなか、消費者の節約志向により低価格競争が激化するなど、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、お客様に喜ばれ満足いただける高付加価値商品の提供ならびに積極的な販売促進活動を進めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前連結会計年度に比べ4.6%減（下記のチョコレート商品および粉末飲料商品の取引価格変更分を考慮すると2.4%減）の21,069百万円となりました。（食品事業におきまして、取引価格の変更をファミリータイプのチョコレート商品につきましては平成22年9月より、ガゼット袋タイプと大缶タイプの粉末飲料商品につきましては平成23年4月よりそれぞれ実施しております。そのため売上高および販売促進費が前連結会計年度の基準で計算した場合よりも減少しております。）営業利益につきましては、事業の効率化やコストの削減を図りましたが、下半期の売上高の減少、原材料価格の上昇および平成22年に稼働しました3工場の減価償却費の負担増などにより、前連結会計年度に比べ77.6%減の126百万円となりました。また、経常利益は前連結会計年度に比べ43.0%減の624百万円となり、当期純利益につきましては、特別利益に投資有価証券売却益62百万円、特別損失に減損損失29百万円および投資有価証券評価損12百万円を計上しました結果、前連結会計年度に比べ46.7%減の377百万円となりました。

<企業集団の事業分野別動向>

食品事業

当連結会計年度におきましては、主力の菓子部門は新商品を投入して営業施策を積極的に展開しましたものの、消費の盛り上がり欠けるなか低価格競争が加速して減収となりました。チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」や新商品の「つぶ撰り苺チョコレート」、「ぷくぷくたいアソート」は健闘しましたが、「ベストアソートチョコレート」、「ナッツチョコレートコレクション」などのファミリータイプの商品や小袋・小物商品の売上が低迷し減収となりました。キャンディ類は、自社商品・受託商品ともに売上が落ち込み、減収となりました。

粉末飲料部門は、分包タイプの「しょうが紅茶」は好調に推移しましたが、主力の「レモンティー」や「ロイヤルミルクティー」などが販売競争激化の影響を受け減収となりました。

また、主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、猛暑の後押しを受けた前年と比べ自社商品・受託商品ともに苦戦し減収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、平成22年の新工場稼働を契機に、積極的な商品提案や販売促進活動を推進しました結果、主力のパウムクーヘン類やゼリー類の売上が大幅に伸張し増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前連結会計年度に比べ4.7%減（チョコレート商品および粉末飲料商品の取引価格変更分を考慮すると2.2%減）の18,643百万円となりました。営業利益につきましては、下半期の売上高の減少、原材料価格の上昇および平成22年に稼働しました新工場の減価償却費の増加などにより、前連結会計年度に比べ43.9%減の649百万円となりました。

化成品事業

酵素部門につきましては海外を主な市場としており、企業間競争が激化するなか、原子力発電所の事故に伴う海外での風評被害や円高の影響を受けました。脂肪分解酵素「リパーゼ」は前連結会計年度と同程度の売上を確保しましたが、チーズ用凝乳酵素「レンネット」は苦戦を強いられ大きく売上を落としました。

また、薬品部門につきましては、「デキストラン」から合成したデキストラン誘導体は健闘したものの、医薬品、X線フィルムなどの原料用の「デキストラン」の売上が落ち込み減収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前連結会計年度に比べ3.5%減の2,040

百万円となり、損益面では平成22年に稼動しました2工場の減価償却費の負担や円高の影響を受けて29百万円の営業損失となりました。前連結会計年度は100百万円の営業損失でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、連結子会社のプリンスゴルフ株式会社の収益の減少などにより売上高は前連結会計年度に比べ6.3%減の385百万円となり、営業利益は前連結会計年度に比べ8.9%減の187百万円となりました。

<設備投資および資金調達の状況>

当連結会計年度の設備投資総額は483百万円で、主なものは名古屋工場におけるチョコレート製造設備ならびに枇杷島工場における粉末飲料製造設備の更新などであります。これらに必要な資金は、自己資金および金融機関からの借入金により調達いたしました。

<対処すべき課題>

当社グループを取り巻く環境は、原材料・エネルギーコストが上昇するなかで消費低迷に伴う低価格競争が加速するなど、先行きは厳しい状況が続くものと懸念されます。また、消費者の健康への関心や安全性志向がますます高まるなかで、食品の品質管理や安全性への取り組みが一層強く求められております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様の視点に立った安全・安心で高品質な商品を提供するとともに、企業の持続的な発展を図ることを最大の課題としつつ、各事業分野にわたり強靱な企業体質の確立と収益力の向上に努めることにより、企業価値のさらなる増大を目指します。具体的な取り組み課題は以下のとおりであります。

* 食品事業につきましては、原材料価格の上昇、商品の店頭価格の下落という厳しい環境のなか、消費者の多様化したライフスタイルや価値観にお応えできるよう、市場環境を見据えた商品開発および販売戦略に取り組んでまいります。これらにより、お客様に支持され満足いただける高付加価値商品の提供と販売シェアの拡大を推進してまいります。同時に「アルファベットチョコレート」や粉末飲料の「レモンティー」、また株式会社エースベーカーの「厚切りバウムクーヘン」などの中核ブランドのさらなる強化はもとより、グループ各社の連携を一段と強めてシナジー効果を最大限に発揮して、食品事業の強化と拡大を目指してまいります。また、平成22年の株式会社エースベーカーの新工場稼動による

生産性の向上、生産能力の増強を契機として売上規模の拡大を図り、業績のさらなる向上に努めてまいります。さらに、原材料や商品の安全性はもとより、品質管理体制の継続的な拡充と生産体制の一層の強化を図り、お客様に安心してお買い上げいただける高品質な商品をお届けできるよう注力してまいります。

*化成事業につきましては、酵素部門では主力商品であるチーズ用凝乳酵素「レンネット」の既存の製品ラインに加えて、さらに優れた性質を持つ次世代レンネットの製造・販売の本格化、および平成22年の2つの新工場稼働による生産の効率化と生産能力の増強をベースに海外各国に向けて、積極的な営業活動を展開して販売シェアの拡大に努め、さらなる拡売と収益力の強化を図ってまいります。また、脂肪分解酵素「リパーゼ」やリン脂質製造用酵素「ホスホリパーゼ」の新規用途開発と販売拡充にも注力してまいります。薬品部門では、MRI（磁気共鳴画像）診断用肝臓造影剤『リゾビスト』の原薬である「フェルカルボトラン」の技術を活かした新たな医療分野への用途拡大や、医薬品などの原料用の「デキストラン」の品目拡充と特に海外での販売拡大、およびデキストラン誘導体による化粧品素材や臨床検査用試薬などの新規用途開発も推進してまいります。さらに飼料添加物「ヘルシーフレンド」とその次世代品の用途拡充と販売促進にも引き続き取り組んでまいります。また、環境への配慮と合わせ生産性の向上と生産管理基準のさらなる向上を目指した設備の更新ならびにコストダウンの徹底などを積極的に推し進め、市場競争力の強化を図って事業の拡大に努めてまいります。

今後とも時代の変化に対応し、お客様に信頼され社会に貢献できる企業として継続的に発展するよう、全社を挙げて努力する所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご指導とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成24年6月

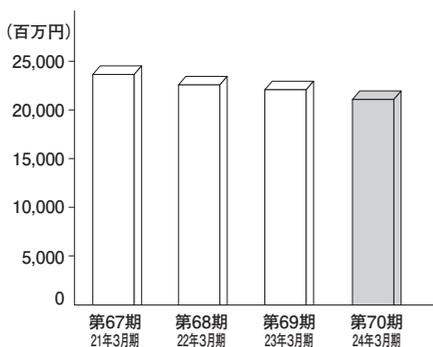
代表取締役社長 水 谷 彰 宏

連結業績の推移

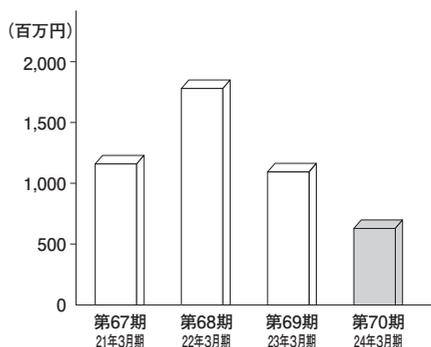
区 分	第 67 期 (平成21年 3 月期)	第 68 期 (平成22年 3 月期)	第 69 期 (平成23年 3 月期)	第70期(当期) (平成24年 3 月期)
連結売上高(百万円)	23,683	22,605	22,088	21,069
連結経常利益(百万円)	1,160	1,777	1,096	624
連結当期純利益(百万円)	809	1,226	708	377
連結ベースの1株当たり当期純利益(円)	45.81	72.95	42.13	22.46
連結総資産(百万円)	42,336	46,619	44,230	43,627
連結純資産(百万円)	30,355	32,326	30,744	31,172

(注) 連結子会社3社
株式会社エースペーカー、名糖乳業株式会社、プリンスゴルフ株式会社
持分法適用会社1社
名糖アダムス株式会社

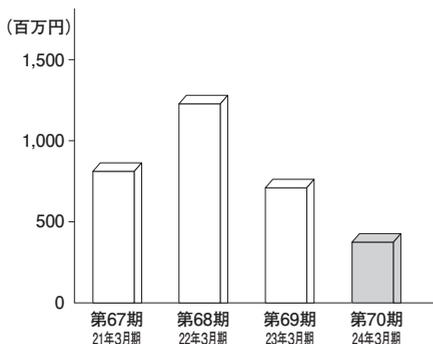
連結売上高



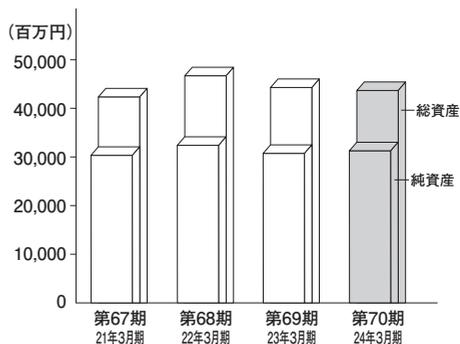
連結経常利益



連結当期純利益



連結総資産／連結純資産



連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成24年 3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	9,553	流動負債	5,575
現金及び預金	2,384	支払手形及び買掛金	2,026
受取手形及び売掛金	4,591	短期借入金	670
有価証券	398	1年内返済予定の長期借入金	870
商品及び製品	885	未払金	257
仕掛品	297	未払費用	1,482
原材料及び貯蔵品	747	未払法人税等	116
繰延税金資産	216	返品調整引当金	8
その他	34	その他	143
貸倒引当金	△4	固定負債	6,879
固定資産	34,073	長期借入金	2,837
有形固定資産	13,044	繰延税金負債	1,451
建物及び構築物	5,455	退職給付引当金	2,152
機械装置及び運搬具	4,324	役員退職慰労引当金	17
工具器具及び備品	70	その他	421
土地	3,113	負債合計	12,454
建設仮勘定	79	(純資産の部)	
無形固定資産	86	株主資本	26,804
投資その他の資産	20,942	資本金	1,313
投資有価証券	20,206	資本剰余金	76
長期貸付金	36	利益剰余金	33,950
繰延税金資産	224	自己株式	△8,535
その他	544	その他の包括利益累計額	4,207
貸倒引当金	△68	その他有価証券評価差額金	4,207
資産合計	43,627	新株予約権	160
		純資産合計	31,172
		負債・純資産合計	43,627

連結損益計算書 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金	額
売 上 高		21,069
売 上 原 価		14,684
売 上 総 利 益		6,384
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		6,258
営 業 利 益		126
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	451	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	49	
そ の 他	121	621
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	46	
そ の 他	76	122
経 常 利 益		624
特 別 利 益		
投 資 有 価 証 券 売 却 益	62	62
特 別 損 失		
減 損 損 失	29	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	12	41
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		645
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	347	
法 人 税 等 調 整 額	△80	267
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 利 益		377
当 期 純 利 益		377

連結株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当 期 首 残 高	1,313	76	33,909	△8,534	26,764	3,886	3,886	94	30,744
当 期 変 動 額									
剰余金の配当			△336		△336		—		△336
当期純利益			377		377		—		377
自己株式の取得				△1	△1		—		△1
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					—	321	321	65	387
当期変動額合計	—	—	41	△1	40	321	321	65	427
当 期 末 残 高	1,313	76	33,950	△8,535	26,804	4,207	4,207	160	31,172

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

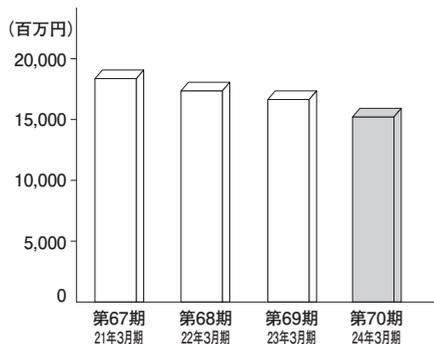
(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,931
投資活動によるキャッシュ・フロー	△567
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,145
現金及び現金同等物に係る換算差額	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	220
現金及び現金同等物の期首残高	1,831
現金及び現金同等物の期末残高	2,051

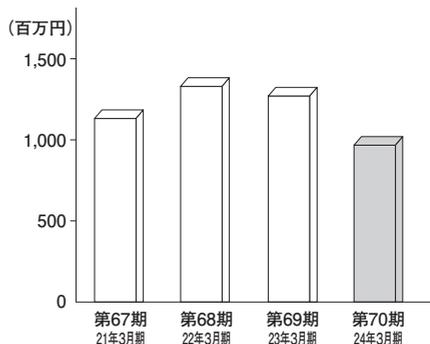
個別業績の推移

区 分	第 67 期 (平成21年 3 月期)	第 68 期 (平成22年 3 月期)	第 69 期 (平成23年 3 月期)	第70期(当期) (平成24年 3 月期)
売 上 高 (百万円)	18,332	17,327	16,613	15,161
経 常 利 益 (百万円)	1,130	1,328	1,271	969
当期純利益 (百万円)	841	936	903	607
1 株当たり当期純利益 (円)	47.60	55.70	53.72	36.14
総 資 産 (百万円)	40,353	44,263	40,184	39,910
純 資 産 (百万円)	29,480	31,177	29,768	30,443

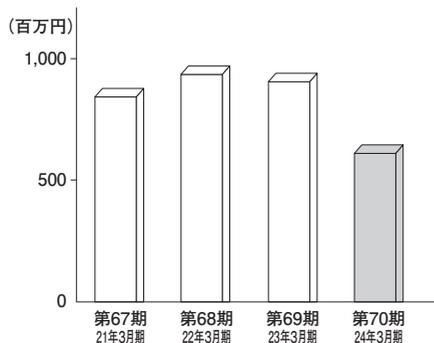
売上高



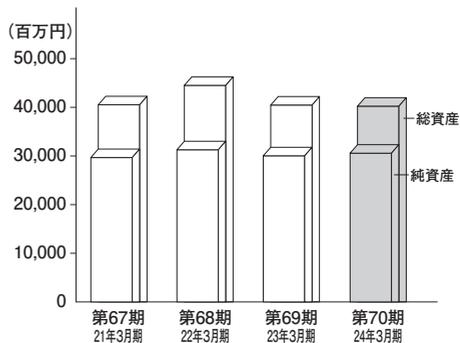
経常利益



当期純利益



総資産／純資産



個別財務諸表（要約）

個別貸借対照表

（平成24年3月31日現在）（単位：百万円）

科 目	金 額
（資産の部）	
流動資産	7,890
固定資産	32,020
有形固定資産	11,188
無形固定資産	61
投資その他の資産	20,770
資産合計	39,910
（負債の部）	
流動負債	4,235
固定負債	5,231
負債合計	9,466
（純資産の部）	
株主資本	26,056
資本金	1,313
資本剰余金	76
利益剰余金	33,202
自己株式	△8,535
評価・換算差額等	4,227
新株予約権	160
純資産合計	30,443
負債・純資産合計	39,910

個別損益計算書

（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）（単位：百万円）

科 目	金 額
売上高	15,161
売上原価	9,762
売上総利益	5,398
販売費及び一般管理費	4,917
営業利益	480
営業外収益	582
営業外費用	93
経常利益	969
特別利益	62
特別損失	26
税引前当期純利益	1,005
法人税、住民税及び事業税	343
法人税等調整額	54
当期純利益	607

（注）1株当たり当期純利益 36円14銭

個別株主資本等変動計算書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算等 差 額	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当 期 首 残 高	1,313	76	32,931	△8,534	25,785	3,888	94	29,768
当 期 変 動 額								
剰 余 金 の 配 当			△336		△336			△336
税率変更に伴う固定資産 圧縮積立金の増加			—		—			—
別途積立金の積立			—		—			—
当 期 純 利 益			607		607			607
自己株式の取得				△1	△1			△1
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）					—	338	65	404
当 期 変 動 額 合 計	—	—	271	△1	270	338	65	675
当 期 末 残 高	1,313	76	33,202	△8,535	26,056	4,227	160	30,443

会社の概要（平成24年3月31日現在）

社名	名糖産業株式会社
本社所在地	名古屋市西区笹塚町二丁目41番地
設立	昭和20年2月
資本金	13億1,325万円
事業内容	食品・化成品の製造販売および不動産賃貸
従業員数	365名
主な事業所	支店 東京・名古屋・大阪・福岡 工場 名古屋・枇杷島・小牧・八王子・福岡
子会社	株式会社エースパーカー（愛知県小牧市） 名糖乳業株式会社（福岡県飯塚市） プリンスゴルフ株式会社（福岡県宮若市）

株式の状況（平成24年3月31日現在）

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	21,265,000株
株主数	7,972名

役員（平成24年3月31日現在）

代表取締役社長	水谷彰宏
専務取締役	水野修
常務取締役	小島寛志
取締役	市川秀夫
取締役	加藤重昭
取締役	瀧川敦志
取締役	山下喜郎
常勤監査役	吉野俊彦
監査役	太田賢一
監査役	寺澤弘

- (注) 1. 取締役山下喜郎氏は、社外取締役であります。
2. 監査役太田賢一氏および寺澤弘氏は、社外監査役であります。

幅広い年代にご支持頂ける 豊富なラインアップ！



アルファベットチョコレート



おいしさ
こだわり

自社工場でカカオ豆から一貫生産。
独特のカカオのコクと薫りを持ち味
とした本格派のチョコレートです。

株式会社 エスベーカー



レモンティー

香り高い紅茶にレモンを加えた本格派。
1杯でレモン2個分のビタミンC。



厚切りバウムクーヘン

丹念に焼き上げたバウムクーヘンを、食べ易
い大きさにカットいたしました。開けてすぐ
取り分けられる、便利な個包装タイプです。

株 主 メ モ

事業年度 定時株主総会 公告の方法

毎年4月1日から翌年3月31日まで

6月中

電子公告により行います。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告により公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告のホームページアドレス <http://www.meito-sangyo.co.jp>

上場証券取引所 株主名簿管理人

名古屋・東京

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

(お知らせ)

1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

2. 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

3. 配当金計算書について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただけます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

■株主様ご優待

毎年9月末(中間期末)現在100株以上ご所有の株主様へ当社商品または当社グループ会社商品を年1回12月上旬に贈呈させていただきます。

- | | | | | |
|-----------|----------|-------|------|------------|
| ●100株以上 | 1,000株未満 | …………… | 小売価格 | 1,500円相当商品 |
| ●1,000株以上 | 5,000株未満 | …………… | 小売価格 | 3,000円相当商品 |
| ●5,000株以上 | …………… | …………… | 小売価格 | 5,000円相当商品 |

meito

名糖産業のホームページをご覧ください。

<http://www.meito-sangyo.co.jp>

環境に配慮し、植物油インキ
を使用しています。

